

須磨区会の足どりとこれから

◆今年(わ)は設立20年目。7月22日(土)には記念式典が行われます。この機会に(わ)と須磨区会の足どりを振り返り、これからの方向を考えてみます。

神戸市シルバーカレッジ社会還元センター時代:

◆1997年の1期生による立上げから7年間は模索の時代でした。当時(わ)を導いた人に全国トンボサミット神戸大会の誘致に関わった小島哲氏(生1・友が丘)、第3期委員長の松井孝氏(生2・高倉台)、第6期委員長の久保雅一氏(国5・磯馴町)ら須磨区の方々がいました。

◆1999年(わ)は「地域密着」体制を強化、各区に地区委員を置きました。須磨区は梅谷正芳氏(国2・須磨浦通)が任に当たり、須磨海岸清掃活動をスタートさせました。翌年には神港園サニーライフ白川で浴後ケア奉仕が始まりました。いずれも今に引き継がれています。

◆2003年、年会費制が導入され、会員が前年の163人から145人に減るといった結果を招きました。

NPO移行から2009年まで:

◆2004年(わ)がNPO法人に認定され、5月の第1回総会で《須磨区会》が生まれました。西村秀美氏(生2・緑が丘)が区会長に、委員として私、細野も加わりましたが区会として何かをしたという記憶はありません。

◆翌年、西村氏が退会、山口雅信氏(生6・竜が台)が区会長を継ぎ、さらに2007年、佐々信義氏(福7・磯馴町)に交代しました。この年一ノ谷プラザ運営の話が持ち込まれましたが区会には受け入れるだけの能力は到底なく、結局本部の所掌に落ち着き現在に至っています。

◆2009年12月、佐々氏が退会、区会長の役が突然私に降ってきました。折から(わ)は加藤勇治理事長のもと《区会活性化プロジェクト》を展開中でした。区会長の交流を通じて他の区会の実状を知るにおよび、須磨区会がいかに沈滞していたか気がされました。

2010年から今日まで:

◆会員数は196人に増加していました。しかしほとんどの会員は区会の存在さえ知らないという状態でした。

◆本部の今田紘氏(国12・北落合)ら区内有識者の意見を聞いて組織体制面の整備よりも区会の認知度を高めることが先決と認識し「区会だより」発行を決めました。

◆思わぬ恩恵もありました。本部からの助成金が十分に活用されないまま50万円近く繰り越されていたのです。

◆最初の3年間、助成金に加え繰越金から約30万円を取りくずし合計56万円を支出しました。交流イベント、区会だより、海岸清掃交通費補助および東北支援活動への拠出など、区会にとって初めての用途でした。

◆その後の4年間はイベントをウォークラリーに絞り、収入(助成金)に支出をバランスさせています。

◆地域のボランティア活動も、当初は参加者が容易に集まらず、要請に応じられないこともありましたが、今ではそのような例はありません。

これから…あるべき形へ

◆外目には健全になりましたが内部には課題を残しています。

◆イベントや予算を区会長の独断に任している現状は変則的です。委員会に委ねるべきです。

◆250人の会員をつなぐネットワークの整備も急がなければなりません。地域ブロック単位の「つながり」がまず必要です。

◆これまで棚上げしていた体制整備に今年こそ取り組まなければならないと考えます。区会の皆さまのご理解とご協力を切にお願いします。



【写真】大会を終えたスタッフ一同：左から細野恵久(福3・白川台)、蔵本公子(食20・竜が台)岡田利勝(食20・高倉台)、余田賢三(国19・中落合)板東美代子(健福19・車)、奥田貴代子(食20・竜の台)濱崎俊二(健福19・竜が台)、山本尚彦(生20・桜木町)

#4 ウォークラリー大会 in 奥須磨公園

◆10月23日(日)薄曇りの朝、厄神さんの駐車場に参加者が続々と集まりました。

◆8:50、♡♡♡の3人がスタート。5分間隔で14チームが次々奥須磨公園の森へ消えて行きました。

◆各チームともキャプテンは須磨区会メンバー、あとは家族や友人など全員4人までという構成です。

◆10:30、最初にゴールしたのもやはり♡♡♡。ところが全チームの得点が出てみると、なんと12位!タイムを競うゲームではないところがウォークラリーの特長であり面白さなのです。それぞれのチームの順位と得点は別表のとおりでした。

◆得点は、伏せてある基準タイムとの近さと、コース途中の設問への回答の二つで決まります。コースは伏せられており先方でコマ図(=分岐などを示す部分地図)を頼りに探し出さなければなりません。観察力と判断力が問われるゲームというわけです。

◆ちなみに今回のコースは全長約3.5km、基準タイムは90分で、全チームの平均タイムは94.4分でした。

◆12:00、順位賞と参加賞が渡され、スタッフへのねぎらいの拍手で大会を締めくくりました。

◆大会後のアンケートでは「楽しかった、またやってほしい」との声が大多数でした。これに応え今秋も第5回の大会を開催します。新しいスタッフがより楽しい企画でお迎えします。ご期待ください。

◆関連の(わ)ホームページ⇒地域活動⇒須磨区⇒活動の記録(2016.10.23)も併せてご覧ください。

http://www.wa-net.jp/

順位	得点	チーム名	メンバー(最初のメンバーがキャプテン)
①	91	友が丘B	西尾孟三・西原 豊
②	90	須磨の海	瀧本武司・内藤宣子
③	84	松風村雨	藤本明美・田路義弘・瀧本雄子・池本和知子
④	77	トリオ・グレイブ	早川雄一・宮崎 稔
⑤	76	あきばれ	神澤のり子・岡田秀明・古勝博通・政岡照代
⑦	74	いじじ	根木義一・矢野恵子・矢野 澄・矢野晃規
⑧	73	いるか	足立 進・黒田理美・松尾千恵子・足立幸子
⑨	65	◇ダイヤ◇	水上桂子・稲上幸子・坂本佐和子
⑩	65	グループ・ツ	柳川瀬淳一・西岡治雄
⑪	57	妖怪トリオ	原 三郎・奈島伴治・清瀬久子
⑫	50	♡♡♡	戸田貞雄・西尾あつよ・井納昭子
⑬	45	友が丘A	菅田忠志・山本善英
⑭	39	フッチー	瀬上重夫・瀬上知子

◆開催費は表の通り5万円弱で前回と同程度でした。

◆厄神さんには、駐車場の開放、デスク、椅子や社印の貸与などの便宜を図っていただいたお礼を込め、大会前日の安全祈願に2万円を納めました。

◆賞品は全チームに行き渡るように配慮しました。またスタッフ8人の企画調査に要した交通費延べ53回分の一部を弁償しました。

件 名	金 額
奥須磨公園使用料	120
ボランティア保険	2,000
文具・印刷	1,781
コマ図ファイル配付	1,500
賞品・お茶	11,038
安全祈願(多井畑厄神)	20,000
企画調査交通費	10,600
	47,039

ご意見・ご提案をお寄せ下さい
hossono-k@k2.dion.ne.jp
FAX:078-793-7219 細野恵久